

更別村地域農業再生協議会水田フル活用ビジョン

1 地域の作物作付の現状、地域が抱える課題

当該地域は、北海道の東部、十勝の南西部に位置し、小麦・豆類・てん菜・馬鈴しょを主要作目とした土地利用型農業を行っている。昨今の農産物価格の低迷や輸入農産物・各種調製品との競合による需要の伸び悩みが問題となる中、適正な輪作体系の維持や土壌分析診断結果に基づく土づくりの他、土地基盤整備等により農産物の安定生産供給や品質と生産性の向上を図る必要がある。

また、家族労働による戸別経営の割合が高い地域であるが、高齢化や後継者不在による離農が進行し、個別の規模拡大が継続的に広がっており、労働力不足が問題となっている。このため、地域に適した農作業請負体系を構築し、労働負荷の大きな作物の生産維持に取り組む必要がある。

2 作物ごとの取組方針

(1) てん菜

てん菜については、収量・糖分の変動による収益性の低下が生産上の課題となっており、高糖分品種の導入、栽培技術の向上、土地基盤の整備や地力の増進、高性能な共同利用機械施設の導入に加え、高収量・高糖分生産技術への改善や省力栽培技術の確立・普及等を進めていくこととする。

(2) でん粉原料用馬鈴しょ

馬鈴しょについては、加工調製品の輸入増加や価格低迷により用途を問わず需給環境が厳しい状況にあり、「安全・安心」面の取組による産地PRや、新品種の導入を含めた優良な種子馬鈴しょの計画的増殖および安定供給、馬鈴しょの品質向上に必要な機械類の導入等を一体的に推進する。

(3) 不作付地の解消

不作付地は存在しない。

3 作物ごとの作付予定面積

作物	平成 25 年度の作付面積 (ha)	平成 28 年度の作付予定面積 (ha)	平成 30 年度の目標作付面積 (ha)
主食用米			
飼料用米			
米粉用米			
WCS 用稲			
加工用米			
備蓄米			
麦	2, 0 4 5	1, 9 2 1	2, 1 0 0
大豆	9 3	1 1 0	1 2 0
飼料作物	2, 5 5 2	2, 3 5 0	2, 5 0 0
そば			
なたね	8	1 6	5
てん菜	1, 6 7 7	1, 6 8 0	1, 7 0 0
でん粉原料用馬鈴し よ	8 6 3	8 7 0	8 3 0
その他地域振興作物			
野菜	1, 3 3 6	1, 4 0 6	1, 3 0 0
地力増進	1 2 3	1 2 0	1 3 0
その他	2, 0 5 7	2, 2 4 0	2, 0 4 0